

クラム天然ブリストア

天然ブリストアとは貝殻自身が寄生虫などの侵入から守るために貝殻を作る物質を異常に分泌して瘤を作る現象である。写真 1 はマルスダレガイ科に属す北米産の食用のクラム(ハマグリ)【学名 *Meretrix lusoria*】である。極稀にオレンジ色や白色など陶器状の外観を持つクラム天然真珠(写真 2)を宿することが知られている。また貝殻や真珠はアコヤガイのような二枚貝の真珠層構造ではなく針状構造である。写真 3 はその拡大写真でクラムが天然ブリストアを作ったところ。この部分に軟 X 線透検査を行うと、外部から侵入した寄生虫の侵入経路が透視像(写真 4)に映し出された。まさに貝殻が寄生虫の侵入から守るための防衛手段として外套膜から針状構造物質を分泌してブリストア(瘤)を作った様子が伺える。



(写真 1) マルスダレガイ科クラム
Photo by Ikuo Atsumi



(写真 2)
Photo by Ikuo Atsumi



(写真 3) 天然ブリストア
Photo by Ikuo Atsumi



(写真 4) 軟 X 線透視像
Photo by Ikuo Atsumi

文: 渥美郁男